



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月9日

上場会社名 キクカワエンタープライズ株式会社  
 コード番号 6346 URL <http://www.kikukawa.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊川 厚

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 出口 行男

TEL 0596-21-1011

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,313	22.7	108	69.9	164	60.6	187	48.7
29年3月期第3四半期	2,992	4.7	359	29.3	418	35.6	364	37.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	14.94	
29年3月期第3四半期	29.10	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	10,870	8,646	79.5	689.46
29年3月期	10,051	8,358	83.2	666.49

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 8,646百万円 29年3月期 8,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.00		4.00	6.00
30年3月期		1.00			
30年3月期(予想)				3.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	7.7	250	52.4	310	46.5	320	32.6	25.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	13,200,000 株	29年3月期	13,200,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	659,585 株	29年3月期	659,229 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	12,540,726 株	29年3月期3Q	12,541,607 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における経済情勢は、国内におきましては、政府の景気対策等の効果もあり、企業収益や景況感を着実に改善しており、日本株式が20年ぶりの高値水準に回復するなど、全般的に緩やかな景気回復基調で推移しました。また、米国・欧州・中国などをはじめとします世界経済情勢につきましても、総じて堅調に推移しております。

これらにより、国内を含む各国での設備投資意欲は上昇基調となっており、日本工作機械工業会の2017年の受注速報値は、前年比131%の1兆6,455億円と、過去最高の受注記録を10年ぶりに更新したと発表されました。

また、新設住宅着工動向につきましても、年率換算にて100万戸近い堅調な動向を示しております。

このような環境のもとにおいて、本年度の受注状況は順調に推移しているものの、低調に推移しておりました昨年度後半の受注状況や各種資材の長納期化などが影響し、当社の第3四半期累計期間における売上高は、2,313,188千円(前年同四半期は2,992,828千円)と3年連続の減収となりました。それに伴い損益面でも、営業利益108,281千円(前年同四半期は359,246千円)、経常利益164,885千円(前年同四半期は418,828千円)、四半期純利益187,326千円(前年同四半期は364,932千円)となり、それぞれ2年振りの減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前期末に比べ819,665千円増加し、10,870,900千円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が232,677千円減少したものの、現金及び預金が237,313千円、投資有価証券が221,446千円並びに仕掛品が197,256千円増加したことなどによるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ531,768千円増加し、2,224,746千円となりました。

これは主に、未払法人税等が127,629千円減少したものの、前受金が611,912千円及び買掛金が69,490千円増加したことなどによるものであります。

また、純資産につきましては、前期末に比べ287,896千円増加し、8,646,153千円となりました。その結果、自己資本比率は79.5%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、国内におきましては、安定した政権体制のもとで、新たな社会資本整備やそれに伴うITを活用した新たなビジネスモデルの創出が次世代の日本経済を形作ることが期待され、木工機械関連では資源量の豊富な国産材の更なる活用に伴う需要が期待されます。

また、工作機械関連では、幅広い産業分野において、著しい人手不足に対応した省力化投資や政策減税などを活用した生産設備の更新などが期待されます。

海外におきましては、東アジアの地政学リスクの顕在化などによる悪影響などが予断を許さない状況下ではあるものの、当社として培い続けている日本での高品質なものづくりの優位性をPRすることにより、緩やかな景気回復基調が続くものと思われれます。

詳細につきましては、本日(平成30年2月9日)公表の「平成30年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があり、その達成を当社として約束するものではありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,433,855	5,671,169
受取手形及び売掛金	1,207,131	974,454
製品	61,510	151,204
仕掛品	150,636	347,893
原材料及び貯蔵品	109,394	115,786
その他	11,442	158,234
貸倒引当金	△120	△97
流動資産合計	6,973,850	7,418,645
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
土地	1,141,502	1,222,234
その他(純額)	855,232	929,581
有形固定資産合計	1,996,735	2,151,815
無形固定資産	9,653	7,729
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,026,684	1,248,130
その他	44,311	44,579
投資その他の資産合計	1,070,996	1,292,709
固定資産合計	3,077,384	3,452,254
資産合計	10,051,235	10,870,900

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	206,011	275,502
未払法人税等	128,096	467
前受金	118,581	730,494
賞与引当金	99,750	34,650
役員賞与引当金	30,250	15,000
その他	188,268	171,359
流動負債合計	770,958	1,227,472
固定負債		
繰延税金負債	266,678	335,672
退職給付引当金	550,400	548,040
役員退職慰労引当金	97,895	102,170
従業員株式給付引当金	-	4,344
資産除去債務	7,045	7,045
固定負債合計	922,019	997,273
負債合計	1,692,978	2,224,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	660,000	660,000
資本剰余金	395,661	395,661
利益剰余金	7,163,146	7,285,669
自己株式	△192,848	△192,954
株主資本合計	8,025,959	8,148,375
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	332,297	497,778
評価・換算差額等合計	332,297	497,778
純資産合計	8,358,256	8,646,153
負債純資産合計	10,051,235	10,870,900

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,992,828	2,313,188
売上原価	1,843,911	1,426,133
売上総利益	1,148,916	887,054
販売費及び一般管理費	789,670	778,773
営業利益	359,246	108,281
営業外収益		
受取利息	4,996	4,394
受取配当金	19,884	20,719
為替差益	18,741	2,859
売電収入	11,474	11,789
その他	10,121	21,730
営業外収益合計	65,218	61,493
営業外費用		
支払利息	138	25
売電費用	5,474	4,838
その他	23	24
営業外費用合計	5,636	4,889
経常利益	418,828	164,885
特別利益		
固定資産売却益	60,062	-
投資有価証券売却益	-	30,618
補助金収入	-	24,219
特別利益合計	60,062	54,837
税引前四半期純利益	478,891	219,723
法人税、住民税及び事業税	101,217	26,927
法人税等調整額	12,741	5,468
法人税等合計	113,958	32,396
四半期純利益	364,932	187,326

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)及び当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

当社は、機械の製造並びに販売事業において単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。